

2026年1月期 第2四半期(中間期)決算短信[日本基準](連結)

2025年9月8日

上場会社名 ミライアル株式会社 上場取引所 東

コード番号 URL http://www.miraial.co.jp 4238

(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 兵部 匡俊

代表者 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長

(氏名) 羽山 哲生 TEL 03 (3986) 3782

半期報告書提出予定日 2025年9月9日 配当支払開始予定日 2025年10月6日

決算補足説明資料作成の有無: 有

決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年1月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年2月1日~2025年7月31日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高	売上高営		営業利益		<u></u>	親会社株主に 中間純利	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年 1 月期中間期	6, 340	△10.3	334	△60.0	362	△58. 4	283	△53.0
2025年 1 月期中間期	7, 069	△7. 2	834	△27.6	871	△27.5	603	△26.9

(注)包括利益 2026年1月期中間期

2025年 1 月期中間期 298百万円 (△52.1%)

622百万円 (△25.8%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円銭	円 銭
2026年 1 月期中間期	31. 40	-
2025年 1 月期中間期	66. 95	_

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年 1 月期中間期	26, 479	22, 621	85. 4	2, 502. 80
2025年1月期	28, 522	22, 496	78. 9	2, 490. 46

(参考) 自己資本 2026年 1 月期中間期 22,621百万円 2025年1月期 22,496百万円

2. 配当の状況

			年間配当金		
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円銭	円銭	円 銭
2025年 1 月期	_	20. 00	_	20. 00	40. 00
2026年1月期	- 1	10. 00			
2026年1月期(予想)			1	1	_

- (注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無
- (注) 現時点において2026年1月期の1株当たり期末配当金については未定です。
- 3. 2026年1月期の連結業績予想(2025年2月1日~2026年1月31日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売」	L高	営業	利益	経常	利益	親会社株3		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第3四半期(累計)	9, 500	△7.5	490	△52.8	520	△52. 9	380	△49.8	42. 06

- (注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有
- (注) 通期の業績予想について、現時点では合理的な予想を行うことが困難であるため、未定としました。なお、通期業 績予想は合理的な予想が可能となった時点で速やかに開示します。詳細は、添付資料 P.3 「1. 当中間決算に関する定 性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更: 無

新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(注) 当中間期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
①以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

2026年 1 月期中間期	10, 120, 000株	2025年 1 月期	10, 120, 000株
2026年 1 月期中間期	1, 081, 545株	2025年 1 月期	1, 086, 885株
2026年 1 月期中間期	9, 034, 528株	2025年 1 月期中間期	9, 017, 106株

- ※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2025年9月9日(火)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。 当日使用する決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1.	当中	P間決算に関する定性的情報 ·····	2
	(1)	経営成績に関する説明	2
	(2)	財政状態に関する説明	2
	(3)	連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	中間	引連結財務諸表及び主な注記	4
	(1)	中間連結貸借対照表	4
	(2)	中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
		中間連結損益計算書	6
		中間連結包括利益計算書	7
	(3)	中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
	(4)	中間連結財務諸表に関する注記事項	ć
		(継続企業の前提に関する注記)	ç
		(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	ç
		(会計方針の変更)	ç
		(中間連結貸借対照表に関する注記)	ç
		(中間連結損益計算書に関する注記)	ç
		(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
		(セグメント情報等の注記)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当社は、新たなステージでの長期ビジョンを実現する第3創業期に向けた土台作りの5年として、2028年度をターゲットとする5カ年の中期成長戦略2028を昨年策定しました。半導体市場の成長と市場シェア拡大を見据え、安定供給できる体制を構築するため、生産能力増強や自動化等による効率化のための投資を進めています。

プラスチック成形事業は、昨年より続いていた半導体市場の在庫調整が概ね底を打ち、用途・分野によりまだらではありますが、緩やかな回復基調が続いています。成形機事業は、自動車業界の失速などの一部不透明感があるものの、受注状況及び部品供給状況は安定しています。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は6,340百万円(前年同期比10.3%減)、営業利益は334百万円(前年同期比60.0%減)、経常利益は362百万円(前年同期比58.4%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は283百万円(前年同期比53.0%減)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

(プラスチック成形事業)

当中間連結会計期間の売上高は5,675百万円(前年同期比6.8%減)、営業利益は602百万円(前年同期比41.8%減)となりました。

(成形機事業)

当中間連結会計期間の売上高は763百万円(前年同期比30.6%減)、営業利益は72百万円(前年同期比52.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当中間連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,929百万円減少し、11,000百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少1,104百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少442百万円等によるものです。

(固定資産)

当中間連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて113百万円減少し、15,479百万円となりました。これは主に、有形固定資産の減少143百万円等によるものです。

(流動負債)

当中間連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて2,165百万円減少し、3,326百万円となりました。これは主に、その他流動負債の減少1,250百万円に加え、電子記録債務の減少608百万円、未払法人税等の減少214百万円、支払手形及び買掛金の減少51百万円等によるものです。

(固定負債)

当中間連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて2百万円減少し、531百万円となりました。 これは主に、その他固定負債の減少7百万円等によるものです。

(純資産

当中間連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて124百万円増加し、22,621百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益283百万円の計上、配当金の支払180百万円等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ 1,104百万円減少し、5,369百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、683百万円(前年同期に得られた資金1,812百万円)となりました。これは主に、仕入債務の減少による減少660百万円の一方、減価償却費の増加673百万円、売上債権の減少による増加667百万円、税金等調整前中間純利益359百万円の計上等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1,594百万円(前年同期に使用した資金1,934百万円)となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出1,592百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、189百万円(前年同期に使用した資金193百万円)となりました。これは主に、配当金の支払額180百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

<通期連結業績予想について>

中期成長戦略2028に基づき、現在の主力であるシリコンウェーハ搬送容器事業を深耕しつつ、成長市場での事業 拡大が見込める高機能樹脂製品、成形機の事業に経営資源を振り向けていきます。

本中期成長戦略期間は、創出した営業キャッシュフローに一部の借入を加え、新製品・新市場の開発のための「攻め」の研究開発投資、事業拡大への対応に向けた生産能力増強や自動化等による効率化のための投資、長期ビジョンの達成に向けたM&A等、積極的な成長投資を実施し、適切な財務レバレッジを考慮しながら、配当性向30%を目途とする安定配当を維持します。

中期成長戦略2028の数値目標は以下のとおりです。

2028年度

①売上高 239億円

②営業利益 47億円 (営業利益率20%)

③ROE 11.1%

④配当性向 30%を目途とする安定配当

2026年1月期第3四半期につきましては、インフレ率の低下や金融引き締めの緩和等により緩やかな回復が見込まれる一方で、地政学的問題の長期化等が懸念され、先行きについては依然として不透明な状況が継続するものと思われます。

このような状況の中、プラスチック成形事業は、半導体市場において、先端品の需要が旺盛な一方で、既存品の需要回復には一定の時間を要しているなか、緩やかな回復基調が継続するものと見込まれます。成形機事業は、自動車業界の動向など一部不透明な状況は継続するものの、受注状況は緩やかに回復していくと見込まれます。

以上を踏まえ、2026年1月期第3四半期連結累計期間の業績予想につきましては、売上高9,500百万円、営業利益490百万円、経常利益520百万円、親会社株主に帰属する当期純利益380百万円としています。

また、通期の業績予想について、現時点では合理的な予想を行うことが困難であることから、未定としておりますが、合理的な予想が可能となった時点で速やかに開示します。

詳細につきましては、本日公表いたしました「2026年1月期第3四半期累計期間 連結業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1)中間連結貸借対照表

		(単位:千円)
	前連結会計年度 (2025年1月31日)	当中間連結会計期間 (2025年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6, 474, 413	5, 369, 902
受取手形、売掛金及び契約資産	3, 277, 565	2, 834, 867
電子記録債権	368, 447	143, 765
商品及び製品	926, 868	960, 706
仕掛品	524, 514	535, 303
原材料及び貯蔵品	903, 611	1, 024, 383
その他	454, 252	131, 459
流動資産合計	12, 929, 673	11, 000, 388
固定資産 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —		
有形固定資産		
建物及び構築物	13, 855, 261	13, 886, 125
減価償却累計額及び減損損失累計額	$\triangle 4,859,753$	$\triangle 5, 115, 059$
建物及び構築物 (純額)	8, 995, 507	8, 771, 065
機械装置及び運搬具 <u></u>	8, 711, 996	9, 122, 870
減価償却累計額及び減損損失累計額	$\triangle 5,973,025$	△6, 261, 402
機械装置及び運搬具 (純額)	2, 738, 970	2, 861, 468
	1, 520, 624	1, 520, 624
建設仮勘定	762, 165	505, 223
その他	5, 883, 082	6, 174, 284
減価償却累計額及び減損損失累計額	$\triangle 4,837,176$	△4, 912, 615
その他(純額)	1, 045, 906	1, 261, 668
有形固定資産合計	15, 063, 173	14, 920, 049
無形固定資産	35, 641	34, 379
投資その他の資産	,	,
投資有価証券	330, 668	377, 545
繰延税金資産	41, 252	20, 832
その他	122, 204	126, 799
投資その他の資産合計	494, 125	525, 177
固定資産合計	15, 592, 940	15, 479, 606
資産合計	28, 522, 613	26, 479, 994

		(単位:千円)
	前連結会計年度 (2025年1月31日)	当中間連結会計期間 (2025年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	416, 597	365, 096
電子記録債務	2, 123, 709	1, 514, 804
未払法人税等	295, 194	81, 164
賞与引当金	258, 749	212, 356
役員賞与引当金	-	10,820
受注損失引当金	281	116
製品保証引当金	4, 912	284
その他	2, 392, 678	1, 142, 239
流動負債合計	5, 492, 124	3, 326, 880
固定負債		
退職給付に係る負債	236, 669	241, 943
繰延税金負債	7,003	7,025
その他	290, 211	282, 726
固定負債合計	533, 883	531, 696
負債合計	6, 026, 007	3, 858, 576
純資産の部		
株主資本		
資本金	1, 111, 000	1, 111, 000
資本剰余金	1, 301, 967	1, 300, 927
利益剰余金	21, 645, 844	21, 748, 844
自己株式	$\triangle 1,689,455$	△1, 681, 154
株主資本合計	22, 369, 356	22, 479, 617
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45, 246	75, 924
為替換算調整勘定	20, 864	16, 333
退職給付に係る調整累計額	61, 138	49, 542
その他の包括利益累計額合計	127, 249	141,800
純資産合計	22, 496, 606	22, 621, 418
負債純資産合計	28, 522, 613	26, 479, 994

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 (中間連結損益計算書)

親会社株主に帰属する中間純利益

(単位:千円) 当中間連結会計期間 前中間連結会計期間 (自 2024年2月1日 (自 2025年2月1日 2024年7月31日) 2025年7月31日) 至 至 売上高 7,069,128 6, 340, 783 5, 096, 337 5, 391, 251 売上原価 売上総利益 1, 244, 446 1,677,877 販売費及び一般管理費 843, 735 910, 373 営業利益 334, 072 834, 141 営業外収益 受取利息 194 1,865 受取配当金 5,018 5, 108 受取賃貸料 3,090 助成金収入 21,027 19,606 19,954 売電収入 その他 4, 179 7,582 営業外収益合計 53, 116 34, 510 営業外費用 為替差損 1,046 減価償却費 5, 537 5,537 修繕費 8,450 909 その他 764 営業外費用合計 15, 799 6,447 経常利益 871, 458 362, 135 特別利益 20,750 関係会社清算益 特別利益合計 20,750 特別損失 固定資産除却損 18, 225 2,170 特別損失合計 18, 225 2, 170 税金等調整前中間純利益 873, 983 359, 965 法人税、住民税及び事業税 265, 325 66, 751 法人税等調整額 4,946 9,551 法人税等合計 270, 271 76, 302 中間純利益 603, 711 283, 662

603, 711

283,662

(中間連結包括利益計算書)

		(単位・1円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年7月31日)
中間純利益	603, 711	283, 662
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28, 284	30, 678
為替換算調整勘定	6, 181	△4, 531
退職給付に係る調整額	△16, 031	△11, 595
その他の包括利益合計	18, 434	14, 551
中間包括利益	622, 146	298, 214
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	622, 146	298, 214

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

		(単位:下円)
	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間
	(自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)	(自 2025年2月1日 至 2025年7月31日)
当場(打乱)フレフン コー	主 2024年7月31日)	主 2020年7月31日/
営業活動によるキャッシュ・フロー	070,000	250,005
税金等調整前中間純利益	873, 983	359, 965
減価償却費	539, 755	673, 699
賞与引当金の増減額(△は減少)	$\triangle 42,514$	△46, 393
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	13, 170	10,820
製品保証引当金の増減額(△は減少) 受注損失引当金の増減額(△は減少)	$\triangle 10,470$	△4, 628
	688	△165
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△22, 404	△10, 947
受取利息及び受取配当金	△5, 212	△6, 973
為替差損益(△は益)	1, 029	$\triangle 0$
関係会社清算損益(△は益)	$\triangle 20,750$	9 170
固定資産除却損	18, 225	2, 170
売上債権の増減額(△は増加)	△368, 540	667, 018
棚卸資産の増減額(△は増加)	71, 631	△165, 399
その他の流動資産の増減額(△は増加)	441, 702	327, 740
仕入債務の増減額(△は減少)	328, 222	△660, 391
未払消費税等の増減額(△は減少)	40, 478	△58, 257
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△43, 294	△134, 769
その他の固定負債の増減額(△は減少)	1, 019	229
その他		△11
小計	1,816,719	953, 706
利息及び配当金の受取額	5, 195	6, 867
法人税等の支払額	△9, 185	△276, 634
営業活動によるキャッシュ・フロー	1, 812, 729	683, 940
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	$\triangle 1,958,126$	$\triangle 1, 592, 101$
有形及び無形固定資産の売却による収入	_	720
固定資産の除却による支出	-	△310
関係会社の整理による収入	25, 750	_
投資有価証券の取得による支出	△762	△680
その他	△905	△2, 594
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1, 934, 044	△1, 594, 967
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	$\triangle 13,565$	△8, 889
配当金の支払額	△180, 292	△180, 662
自己株式の取得による支出	△36	_
財務活動によるキャッシュ・フロー	△193, 894	△189, 552
現金及び現金同等物に係る換算差額	4, 361	
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△310, 848	△1, 104, 511
現金及び現金同等物の期首残高	6, 759, 896	6, 474, 413
現金及び現金同等物の中間期末残高	6, 449, 047	5, 369, 902
2011 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	0, 449, 047	5, 509, 902

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

※ 期末日満期手形等の会計処理については、前連結会計年度において、連結子会社の決算日が金融機関の休日であったため、満期日に決済が行われたものとして処理しています。期末日満期手形等の金額は、次のとおりです。

	前連結会計年度 (2025年1月31日)	当中間連結会計期間 (2025年7月31日)
受取手形	1,998千円	一千円
電子記録債権	1,070	_
支払手形	1, 569	_
電子記録債務	28, 337	_

(中間連結損益計算書に関する注記)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりです。

	前中間連結会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年7月31日)
給料	120,915千円	158,717千円
運送費	169, 958	152, 033
賞与引当金繰入額	28, 441	22, 873
役員賞与引当金繰入額	13, 045	10, 820
退職給付費用	6, 466	8, 828
製品保証引当金繰入	\triangle 10, 470	△343

※2 関係会社清算益

前中間連結会計期間(自 2024年2月1日 至 2024年7月31日) 特別利益の関係会社清算益は、非連結会社である有限会社創進ケミテックの清算に伴う利益です。

当中間連結会計期間(自 2025年2月1日 至 2025年7月31日) 該当事項はありません。

※3 固定資産除却損

前中間連結会計期間(自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)

特別損失の固定資産除却損は、非連結会社である有限会社創進ケミテックへ賃貸していた埼玉工場を、 有限会社創進ケミテックの会社清算及び老朽化により解体した工事費用等に伴う損失です。

当中間連結会計期間(自 2025年2月1日 至 2025年7月31日) 固定資産除却損は、その他有形固定資産の処分によるものです。 (中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

前中間連結会計期間
(自 2024年2月1日
至 2024年7月31日)当中間連結会計期間
(自 2025年2月1日
至 2025年7月31日)現金及び預金勘定6,449,047千円5,369,902千円現金及び現金同等物6,449,0475,369,902

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

- I 前中間連結会計期間(自2024年2月1日 至2024年7月31日)
- 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		
	プラスチック成形 事業	成形機事業	合計
売上高			
一時点で移転される財	5, 997, 641	227, 291	6, 224, 932
一定の期間にわたり移転さ れる財	800	843, 394	844, 195
顧客との契約から生じる収 益	5, 998, 442	1, 070, 686	7, 069, 128
外部顧客への売上高	5, 998, 442	1, 070, 686	7, 069, 128
セグメント間の内部売上高 又は振替高	93, 686	28, 733	122, 419
1111111	6, 092, 128	1, 099, 419	7, 191, 547
セグメント利益	1, 034, 894	153, 905	1, 188, 799

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

利益	金額	
報告セグメント計	1, 188, 799	
セグメント間取引消去	△1, 979	
全社費用 (注)	△352, 678	
中間連結損益計算書の営業利益	834, 141	

- (注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費です。
- 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。

- Ⅱ 当中間連結会計期間(自2025年2月1日 至2025年7月31日)
- 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

			(<u> _ , </u>
	報告セグメント		
	プラスチック成形 事業	成形機事業	合計
売上高			
一時点で移転される財	5, 574, 609	238, 579	5, 813, 189
一定の期間にわたり移転さ れる財	3, 517	524, 076	527, 594
顧客との契約から生じる収 益	5, 578, 127	762, 656	6, 340, 783
外部顧客への売上高	5, 578, 127	762, 656	6, 340, 783
セグメント間の内部売上高 又は振替高	97, 110	507	97, 618
111111	5, 675, 237	763, 164	6, 438, 401
セグメント利益	602, 324	72, 732	675, 057

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

	(
利益	金額	
報告セグメント計	675, 057	
セグメント間取引消去	8, 159	
全社費用 (注)	△349, 144	
中間連結損益計算書の営業利益	334, 072	

- (注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費です。
- 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。